

平成29年度予算7会計総額

67億2,722万円  
のまちづくり

予算審査特別委員会  
議論白熱の3日間

平成29年度当初予算の審議

質疑の概要をお知らせします。

平成29年度一般会計等予算審査特別委員会は3月14日から3日間行われ、慎重審議の上、国保診療所会計を除く6会計予算を可決。国保診療所会計は賛成少数により否決しました。

一般会計(歳出)

議会費

【議会費の主な事業】  
▼議会だより発行(年4回)

総務費

各種電算システム委託

竹中委員

OAシステム会社に委託しているが、町内の詳しい方に委託出来る部分はないか。

中村総務課長

システム会社がつくったものには、会社以外の者は扱えないことになっている。

職員研修

竹中委員

国との人脈や関係づくりのため、国の機関へ職員を派遣する考えはないか。

中村総務課長

受け入れ枠の関係もあるが、機会があれば積極的に参加させたい。

町有バス

竹中委員

経年劣化により大幅な修理等も発生している状況だが、更新の検討時期と考えるが。

中村総務課長

平成5年7月登録であり24年目となる。走行距離も24万5kmで、故障が頻繁に発生していることから、更新の検討を始めている。

庁舎維持管理

但野委員

庁舎前駐車場のアスファルト補修を行うべきでは。

坂東建設水道課長

本年度修繕費の中で対応する。

人口林間伐事業

竹中委員

29年度の事業計画は。

島田産業課長

国、道の補助金が28年度並みの情報から、下刈り及び植栽のみ計上し、間伐については内示額確定後に補正予算計上としたい。

定住移住促進対策費

152万円

椎名委員

リフォーム補助金等は今後も考えているのか。

佐藤企画課長

6月補正予算にて計上を考えている。

但野委員

6月補正予算とした理由は。

佐藤企画課長

今後継続協議を要するため。

但野委員

今後も住宅取得者を支援していく中で、その方向性に変更はないと認

識しているが、29年度説明資料の中でなぜその文言がないのか。

佐藤企画課長

政策予算としており、町長選挙後に考え方を整理するため。

地域生活・活動支援事業

45万5千円

但野委員

生活館の備品は新規購入か、老朽化等による更新か。

佐藤企画課長

泉生活館の会議用テーブルは新規購入。節婦生活館のパイプ椅子は老朽化に伴う更新。

コミュニティバス経路

芳住委員

経路は毎年見直されているのか。

佐藤企画課長

山間地域の学生を対象に希望アンケートを取り、居住状況を鑑みて経路を決定している。

芳住委員

利用者から乗車場所が遠いと苦情を聞いている。一般の利用者についてはどう捉えているか。

佐藤企画課長

配慮しているが、あまりにも効率が悪く場合は難しい。それ以外は基本的に対応している。

## 民生費

ふれあい夕食事業

但野委員

①28年度管理栄養士の利用者宅への訪問回数は。

②委託先との減塩メニューの提供に係る協議は。

鷹嘴保健福祉課長

①26戸に対し訪問を実施した。

②提供したメニューを管理栄養士が確認しているが、内容を指導した実績はない。

但野委員

利用者が66名、訪問件数が26戸と半数にも及ばないが、利用者全員に一度は目を通す心遣いが必要と思うが。

鷹嘴保健福祉課長

今後全戸訪問を目標に進めていきたい。

但野委員

配食に子どもを参加させるとあるが、どのような展望を持っているのか。

鷹嘴保健福祉課長

現在ふれあい夕食は1日平均30食程度配食しているが、半分程度を介護支援係職員と児童が一緒になって訪問することを考えている。

高齢者買い物支援事業補助金

443万4千円

芳住委員

Aコープ店の撤退により商工会係だけの事業となり、改善していくとしたが改善内容は。

鷹嘴保健福祉課長

同等商品を提供できる体制に向け改善を図り、対応できている。

芳住委員

売り上げも順調に伸びているが、売り上げの1%経費負担を上げる必要があるのではないか。

鷹嘴保健福祉課長

いましばらく現行の1%で進めたい。

芳住委員

一般的な商店での利益率が1%だと考えられない。社会福祉目的の事業であり、商工業の経営改善を含めるのであれば、通常店頭販売の負担が必要なのではないか。

鷹嘴保健福祉課長

らくらく運営協議会の中で協議した経過があるため、再度協議会で検討したい。

芳住委員

協議会の構成員は。

鷹嘴保健福祉課長

町内商工会に加盟する店舗のうち20店舗となっている。

芳住委員

単身老人の見守りを含めた福祉事業として始まったものだが、訪問時の様子の報告を受けているのか。

鷹嘴保健福祉課長

見守りも兼ねて行っているが、現在までに異変があったという報告はない。

芳住委員

訪問時の報告は毎回受けているのか。報告を義務付け、利用者の状況をチェックする必要があるのでは。

鷹嘴保健福祉課長

随時報告のような状況となっていたため、指摘の部分は協議会と改善を図っていききたい。

高齢者等生活支援事業

但野委員

予算増額の要因は。

鷹嘴保健福祉課長

職員人件費であり、職員4名の内臨時職員2名を正職員へ登用したため。

但野委員

3月補正予算で、当初からの増額説明を利用者の減としていたが、人件費に伴う増額であるならば矛盾するが。

鷹嘴保健福祉課長

28年度介護保険制度改正による利用者減の部分も含まれている。

医療連携

秋山委員

具体的にどのような事業展開を考えているのか。

鷹嘴保健福祉課長

町の医療・介護を取り巻く状況から、新ひだか町医療機関との連携を図る。

秋山委員

新ひだか町以外の町村とは医療連携を図らないのか。

鷹嘴保健福祉課長

他町との連携も図っていくが、町では新ひだか町との連携が重要と判断している。

認知症総合支援事業

芳住委員

現在の認知症人数は。

鷹嘴保健福祉課長

介護認定者341名の中で230名。

芳住委員

認知症の方やその家族に早期の対応を図るための支援チームに係る研修費等が予算計上されている

が、この事業は進めているのか。

鷹嘴保健福祉課長

認知症と思われる方を発見した場合に連絡をいただき概ね6カ月以内に医療機関へつなげるよう認知症サポート医とチーム員で対応するもの。サポート医とチーム員の研修費等を計上しているが、事業実績としてはまだ動いていない状況。

芳住委員

この事業は継続事業となっているが、町民へどのような周知をしているか。

鷹嘴保健福祉課長

町政事務委託文書及び広報で周知しているが、内容が難解であり継続して制度周知を図っていくたい。認知症の報告は主に家族等からの報告を想定している。

芳住委員

認知症だとはっきりしない中で報告は、なかなかできるものではない。やはり行政側の積極的な訪問、対応が必要と考えるが。

鷹嘴保健福祉課長

認知症予防対策として、家族介護教室などそれぞれ施策は行っているが、報告をためらう場合も想定されるためサポート医とチーム員が働きかけていく。

保健師採用インターンシップ事業

8万8千円

芳住委員

現在保健師は不足しているのか。

鷹嘴保健福祉課長

現在保健師は6名であり、不足している状況ではない。28年度実績で1名受け入れを行っており、採用に結び付いている。

## 衛生費

ごみ収集委託料

秋山委員

予算増額の要因は。

佐渡町民生活課長

地区巡回の距離、燃料代等の社会的要因が含まれており、総体での増額となった。

粗大ごみリサイクル

秋山委員

粗大ごみをリサイクルする考えはあるか。財源確保にも有効と考えるが。

佐渡町民生活課長

家電等可能なものについては出来る限り対応しており、リサイクルできないものが粗大ごみとなった

ている。

秋山委員

役場で出している椅子、机等のリサイクルは可能か。

中村総務課長

庁舎内から出るごみで鉄等はほぼ出ないため、資源の活用及び財源の確保としては難しい。

## 農林水産業費

農業委員会委員の選出

武田委員

選出方法が改められたが、現在の応募状況は。

長谷川農業委員会事務局次長

現在1名推薦書の提出がある。

武田委員

募集期間中に定員を下回った場合、あるいは上回った場合の対応は。

長谷川農業委員会事務局次長

定員に達しなかった場合、4月まで応募を延長する。また、定員を上回った場合、5月に評価委員会を立ち上げ、その中で評価を行う。

経営所得安定対策直接支払推進事業

椎名委員

協議会の事業内容は。

**島田産業課長**

町・農協・普及センター・共済組合に各振興会長が加わった協議会であり経営所得安定対策（旧転作奨励金）に係る事務を行っており、国からの補助金を全額協議会事務費としている。

**椎名委員**

補助金の執行は適切か。

**島田産業課長**

毎年総会を開催し、事業の中間状況、実績状況、出納状況等を確認している。また、国の補助金であるため道検査も受けている。

**黒毛和種繁殖雌牛導入事業**

**但野委員**

予算減の要因は。

**島田産業課長**

昨年度1頭当たり10万円を10頭計上していたが、今年度新たな国の補助金を活用し、町補助額は5万円となり15頭見込んでいたため減額したものの。

**竹中委員**

国の補助のほか、町で5万円上乗せして補助することか。また、導入限度50万円から25万円となっているが、昨今の状況からこの金額では不足と思うが。

**島田産業課長**

町補助額としては5万円の補助を行う。素牛購入よりも自家生産の方が費用がかからないため、見直しはせずこのまま進めたい。

**受精卵移植事業**

**竹中委員**

実績が上がらないのは、受精卵の受胎率、出生率などが影響しているのか。

**島田産業課長**

町有牧野で受精卵原価販売を開始し、受胎率は低いが事業は進められている。9割以上が出生していると考えられる。

**竹中委員**

受精卵を採取する繁殖牛を町で保有する考えはないか。

**島田産業課長**

現在町有牧野では、ドナー牛を所有し安定的に受精卵を提供している。優秀な母体を所有している生産者もおり、その母体から受精卵を提供していただければよいが、繁殖障害も考えられることから、そこまでは至っていない状況。

**町有牧野稲わら収納庫借上料**

**但野委員**

例年30万円から40万円の借り上

げ料を考慮すれば、稲わら収納庫を建設するのが得策と考えるが。

**島田産業課長**

現在の敷地利用の中で場所が確保できない。また、施設建設のコストと借上料を比較した場合、維持管理もないため現状のまましたいが今後検討したい。

**森林公園キャンプ場**

**長浜委員**

28年度計画値と実績値の結果から29年度計画金額の根拠は。また、28年度実績の増要因と今後の施設維持管理において、増築及び新築の検討は。

**佐藤企画課長**

28年度は、キャンプサイトの利用者を積極的にバンガローへ誘導したことで計画値より大きく収入が伸びたもの。29年度計画金額の根拠は、過去3年間の平均値としている。今後の施設維持管理は、状況によって検討するが現状維持更新と考えている。

**バーベキューハウス修繕**

**芳住委員**

修繕等費用がかかるのであれば、使用料を徴収しては。

**佐藤企画課長**

今後検討したい。

**水産業振興補助金**

**椎名委員**

①マツカワ中間事業の概要は。  
②ホッキ放流事業の概要は。  
③稚ダコ保育礁事業の概要は。

**島田産業課長**

①毎年えりもから南茅部まで100万匹を放流し取り組んでいるので、近年漁獲量は回復している。  
②事業実施後その区間3年間禁漁とし、稚貝を育成するもの。  
③国の事業と連動してタコの産卵礁を育成している。



たくさんの方に喜ばれているキャンプ場

いずれも回遊性のものであり、漁獲を上げるだけでなく、育てる漁業として資源を育成するため行っている。

**漁業者漁具整備事業補助金**

武田委員

昨年の台風被害により、多くの漁具が破損及び流失したことから単年に限り補助限度額15万円から30万円としているが、さらなる補助増の検討は。

島田産業課長

日高漁協から節婦地区の漁具被害額は297万6千円と報告を受けており、これに見合う額を予算措置している。

**商工費**

**人件費の予算計上**

但野委員

昨年まで商工総務費で人件費が計上されていたが29年度は。

中村総務課長

28年度機構改革により他の科目で計上している。

**ツツジ植栽管理業務委託**

椎名委員

現状の温泉前庭の植栽では手狭であり機械も入る事ができない。これを丘へ移植する考えはあるか。

佐藤企画課長

観光的な視点を含め、検討した経過もあり、移植する考えは持っている。今後議論しまとめた中で適切に行いたい。

**パークゴルフ場管理業務委託**

椎名委員

利用者から芝の手入れが行き届いていないと聞いているが。

佐藤企画課長

指摘のとおりであり、適正な管理に努めたい。



さわやかな汗はパークゴルフで

**道の駅**

竹中委員

施設のあり方を引き続き検討とあるが。

佐藤企画課長

役場内部でプロジェクトを作り検討し、総括しているが政策的判断もあるため5月以降に報告したい。今後多方面からの検討も必要と考えている。

**西泊津町有地土地利用**

芳住委員

行政だけでなく様々な検討が必要だが、どのような組織を持って検討していくのか。

佐藤企画課長

核となる乗馬クラブの移転先が決まり次第、町民を含め議会と協議したい。

芳住委員

町民に対しアンケートを取り意見収集しているが、内容を協議し検討を行ったのか。

佐藤企画課長

いただいた意見、アイデアについてオープンにし、提示しながら検討の体制を進めて行きたい。

**新冠温泉**

須崎委員

入浴客が減少している現状を打破するため、強く企業努力を要望する。

佐藤企画課長

指摘の部分をしっかり伝え、よい方向へ進むよう努力していく。

**にいかつぷふるさと祭り**

武田委員

送迎バス等を検討しては。

佐藤企画課長

町有バスがあるため運行は可能と考えるが、ニーズがあるのかどうかも含め実行委員会の中で協議が必要。

**観光振興プロデューサー**

芳住委員

「ぼっちゃんかぼちゃ」、「スカイランタン」と事業評価を行っているが、この他に観光や企画に活用したことがあるか。

佐藤企画課長

自身の事業計画を持ち、商店街活性化を目指し空き家・空き店舗のリノベーション等の活動をしており、現在観光振興協議会の中で

計画作りを行っている。

## 土木費

### 町道沿道支障木伐採

竹中委員

中山間における町道周辺の樹木が生い茂り、暗い印象を受けるので、範囲を広げ、根元から伐採するなど対応は。

坂東建設水道課長

例年周期ごとに場所を選定し、集中的に伐採等行い、また、その他突発的なものに対応している。

### 道路維持事業

椎名委員

経年劣化により町道が傷んでいるため早めの補修を。

坂東建設水道課長

即補修が必要な場合は、即効性の補修材を用いて対応している。

### 軽種馬共同育成線改良舗装工事

但野委員

30年度までの事業となっていたが、31年度までに延長した理由は。

坂東建設水道課長

30年度完成目標としていたが、昨今の建設資材費及び労務賃金の

高騰から、計画通り進まなかった。現在の進捗状況を勘案し、1年繰り延べしたい。

但野委員

今年度計画では1000mとなっているが、残210mに関して、資材の高騰等の確認を行った上で31年度完成させるといふことか。

坂東建設水道課長

31年度までに完成させる。

### 河川施設維持管理事業

武田委員

昨年の大雨による災害で、河川や排水への土砂流失等で大きな被害となったが、除去作業の進捗状況は。

坂東建設水道課長

掘削の進捗状況は95%ほど。また、掘削作業を優先させたことから、土砂がそのままとなっていることが考えられるため、営農に支障ないよう対応したい。

武田委員

一時仮置きした土砂など利用を望む声もあるが対応は可能か。

坂東建設水道課長

地先の方から希望がある場合は対応している。

### 樋門樋管管理

椎名委員

樋門管理を業者へ委託する考えは。

坂東建設水道課長

道管理の樋門を町経由で地先の人へ委託しているが、今後道と検討していきたい。

### 河川環境整備

芳住委員

河川流水が適切な流れをしていない。河床の柳、砂利も含め適正に流れるよう要望してほしい。

坂東建設水道課長

道へ河川環境の維持管理も行うよう要望し、環境整備をしていきたい旨の回答を得ている。

### 公営住宅管理費

1274万7千円

但野委員

前年対比で603万円の減額となっているが業務上支障はないのか。

中村総務課長

減額となった理由は公営住宅の電算システム購入費600万円であり、経常経費は例年とほぼ同額を予算計上している。

### 公営住宅改修工事

武田委員

工事箇所は。

坂東建設水道課長

新和地区の公営住宅の解体撤去、節婦ふれあいタウンの浴室改修工事を行う。

### 公営住宅移転補償費

64万円

武田委員

汐見団地に係る部分だが、内容と対象戸数は。また、現在公営住宅に対象者の受け入れは可能か。

坂東建設水道課長

汐見団地の二階建て住宅を将来的に取壊すため、居住者に町内の公営住宅に移転していただく転



適切な流れとなるよう河川環境の整備を

居費とするもので5戸の予定。現在、受け入れる住宅はないが、今後空きができたときに優先的に入居させたい。

**武田委員**

移転対象者を優先することにより、新規の入居希望者が入りづらくなる。その場合に、町内の空き家を探すことになるが、町として情報を提供する考えはあるのか。

**中村副町長**

公営住宅の管理計画の中で、将来的には現在よりも減少させることを考えている。減少戸数に対しては、町でも助成制度を設け、民間の力を借りながら供給し、住宅政策を進めていきたい。町は民間の斡旋までには行っていない。

**芳住委員**

公営住宅の建て替える建設場所は。

**坂東建設水道課長**

町内に分散して建設を考えている。具体的な計画は場所も含めて今後協議する。

**竹中委員**

住み替えの際に、公営住宅であれば激変緩和措置は検討しているか。

**坂東建設水道課長**

検討している。

### 節婦ふれあいタウン改修工事

**武田委員**

- ①タウンの建設年は。
- ②浴室・水回り・トイレ拡張ほかに一式とあるが内容は。

**坂東建設水道課長**

- ①道路及び周辺整備含め平成2年から5年で事業を終えている。
- ②平成28年から始め31年までの目標を持って進め、まずは内部環境の改善を全戸で行い、その後外部改修に取り掛かっていきたい。



改修が進められてる節婦ふれあいタウン

### 消防費

#### 泊津避難場所

**椎名委員**

避難場所であるため、屋根及びトイレの設置は検討しているのか。

**中村総務課長**

必要ということを認識しているので、今後の検討課題としたい。

**芳住委員**

災害発生時避難した住民の対応は。

**中村総務課長**

公用車で泊津生活館まで移動することを考えているが、できない場合は地域の方をお願いしたい。

### 教育費

#### 朝日小学校臨時教員

**武藤委員**

給与体系は。

**中村総務課長**

町の臨時職員取扱規則に基づき格付けしているため、教職員給料表とは異なる。

#### デジタル教科書

**武藤委員**

2020年の新学習指導要領の実施に基づき、先行的に導入しているのか。

**工藤管理課長**

学校と連携調整を図るICTの推進委員会の中で協議し、授業を

進める上でよい評価を受けているため追加購入するもの。

※ICTとは、情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスの総称。ICTとほぼ同意語。

**武藤委員**

教育的な効果があり非常に便利ではあるが、その反面考える力が弱まるという意見が専門の学会で言われてもいるため、十分検討して進めてほしい。

**工藤管理課長**

ICT推進委員会ですらといったものが効果的なのか検討し、29年度は数学、化学、音楽の3教科の導入を計画している。

#### 新冠こども塾

**長浜委員**

ポランティア講師により実施しているが定員等の状況は。また、科目内容と教材は。

**工藤管理課長**

現在登録人数は30人を超えており、定員等の定めはなく随時受け入れを行っている。国語と算数の基礎学習を中心としているためプリントを用いている。

### 児童・生徒食物アレルギー

武田委員

アレルギーの子どもが全国的に増加しているが町の対応は。

工藤管理課長

学校給食の食物アレルギーについては、各学校、認定こども園ドレミでもマニュアルを作成し対応している。

武田委員

子どもへの対応や教員、保育士に対する支援は。

工藤管理課長

対応が必要な子どもには除去食メニュー等を作っている。また、栄養士を研修に参加させ研鑽させている。

### ふるさと給食

芳住委員

食育の観点から地場産品をどう調理するか、あるいはおいしく食べる方法等、説明することを取り入れてはどうか。

工藤管理課長

生産者の方に学校に来ていただき、食材の使い方、農作業の説明といった生産するまでの苦労、食べ物大切さなどのお話をいただいている。調理も管理栄養士が出向いて生産者の話を聞きながら対

応しているが、今後学校とも調整し検討したい。

### 要保護等児童新入学用品費

武藤委員

国からの補助額が平成29年度から増額となっているが、その金額で計上しているか。

工藤管理課長

国からの通知が当初予算編成後であったため、6月補正予算で対応したい。

### 中学校グラウンド改修

武田委員

改修の概要は。

工藤管理課長

グラウンド全体に土の補充、排水トラフ、排水口字溝の清掃を行うもの。



大会上位をめざし練習に励んでいます

### 中学校情報機器整備事業

竹中委員

タブレット端末導入及びLAN整備の活用方法と期待される効果は。

工藤管理課長

デジタル教科書使用には、端末が無ければ活用できないため購入するもので、各教室で使用する。

竹中委員

OSはXPから変換しているのか。

工藤管理課長

新冠中学校では全てXPから変換している。新冠小学校は一部XPだが、今後変換に向け協議していきたい。

### レ・コード館自主企画委員会事業

氏家委員

レ・コード館20周年を記念した南こうせつコンサートのため、前年度比200万円の増額となっているが公演可能か。

山本社会教育課長

自主企画委員会と連携を図って計画しており、総体経費は430万円で、記念事業として増額した200万円は、市町村振興協会の補助金をあて、残りは自主

企画委員会の通常の補助金からの負担となっている。20周年記念事業のため、チケット料金割安を検討している。

氏家委員

自主企画委員会の負担もあるが記念事業であれば全額町で負担してはどうか。

山本社会教育課長

団体、個人などの力を活用させていただき、20年記念事業を行う考えを自主企画委員会にも協議し理解いただいている。



全国各地からレコードの寄贈があります

### 少年国内研修交流事業

但野委員

継続事業としていたが、29年度の予算計上はないが。

山本社会教育課長

事業の着手時期を鑑み、6月補正予算計上を検討している。

スポーツ支援員報酬

但野委員

予算を増額した理由は。

山本社会教育課長

定期的に行う会議、研修は昨年同様だが、スポーツ推進員の機能を協議した結果、地域に何らかのスポーツを紹介していくような検討をしており、その分で報酬を増額している。

一般会計歳入歳出全般

電気自動車充電施設

武田委員

施設の利用状況は。

佐藤企画課長

平成28年4月から11月までの利用状況は149台であり、月平均約20台。



月20台の利用がある急速充電器

簡易水道会計

道簡易水道協議会負担金

4千円

但野委員

① 昨年度から大幅に負担金が下がっている理由は。

② 協議会の事業内容は。

坂東建設水道課長

① 国庫補助事業の事業費に同じ事業割を負担しており、昨年度は事業があったが今年はなくなくなったため。

② 機関紙発行、研究会、講習会などをやっている。

介護サービス会計

全体予算の減

但野委員

28年度3月補正後と比べ当初予算は1800万円ほど減になっている要因は。

山下特別養護老人ホーム所長

3月で退職する所長、介護支援専門員等の人件費を計上していない、4月1日の人事異動による補正予算対応とする。

利用者の事故賠償保険

椎名委員

利用者に事故があった場合の保険対応は。

山下特別養護老人ホーム所長

町村会の賠償保険に加入しており、事故の際にはこの保険で対応している。

高圧電線支持用碍子取替工事

芳住委員

高圧電線関係は北電が行うものでないのか。

山下特別養護老人ホーム所長

老人ホームの国道側にある高圧受電設備の碍子を取替える。これは町の設備となっている。

特別養護老人ホーム入所者自己負担金収入

但野委員

28年度と比較し200万円ほどの減額となっている要因は。

山下特別養護老人ホーム所長

介護保険で保険対象となる9割分を除く1割が自己負担だが、入所者の収入階層が変わったことによるもの。

国保診療所会計

医療費の減(歳出)

但野委員

28年度と比べ約2800万円の減となっている要因は。

坂本診療所事務長

28年度は新ひだか町との医療連携に基づき医療連携情報システムを3000万円で導入しているもので、主にこの部分が違っている。

医療連携情報システム

武藤委員

レントゲン、CT、内視鏡等の画像データを電子化したシステムだが、新ひだか町で進めているバーチャル総合病院構想との関わりは。

坂本診療所事務長

検査画像データの電子化により、バーチャル総合病院構想の中で患者情報の共有化が迅速に図られる。

※バーチャル総合病院構想

インターネットを活用し患者データを病院間で共有化を図る

武藤委員

MRIも含まれるのか。

坂本診療所事務長

診療所にも新ひだか町立病院にもMRI設備はない。

**芳住委員**

導入効果を把握しているのか。

**坂本診療所事務長**

これまでは、救急で新ひだか町転送されたときに、新ひだか町立病院のかりつけ医でなければ救急対応できなかったが、今後は対応可能となる。

**芳住委員**

新ひだか町内に救急指定医療機関があるので、あまり効果が期待できないのではないか。

**坂本診療所事務長**

今まで対応できなかった新ひだか町立病院への転送が可能となったこと、あわせて新ひだか町の進めているバーチャル医療構想の中でも連携が図られる。

**新ひだか町への医療連携負担金**

2240万円

**芳住委員**

看護師も受け入れさせていただいたが、恒久的に負担する必要があると思うが。

**中村副町長**

入院病床を休止することにより、補完する入院病床が必要だということ。これは行政として当然なこと、費用を負担することは必要なこと。

**芳住委員**

日高管内の病院同士の連携であ

ればわかるが、医療連携負担金は見直すべきではないか。

**坂本診療所事務長**

日高中部の医療圏の今後について新ひだか町と協議を重ね、医療連携が必要と決めたこと。連携する2町が互いに効果があるという共通認識で始めたもの。

**芳住委員**

入院の受け入れ体制に問題はな

**坂本診療所事務長**

町民が受け入れを拒まれることはない。と信じている。

**秋山委員**

①負担しないと入院ができないのか。

②入院病床は廃止なのか休止なのか。

**坂本診療所事務長**

①入院させる、させないは医師の判断に基づいて行うもの。医療連携負担金は両町の協定に基づいて費用を負担することなので、医師の判断と別なものと考えている。

②今後改築があった場合に財源的に有利なので、現在、条例上は休止扱いとしている。改築の際には条例上で廃止とする。

**但野委員**

医療連携することにより両町に

メリットがあるのであれば、協定見直しの考えはないか。

**坂本診療所事務長**

新ひだか町と話し合う場を持ちたい。

**レセプトコンピュータ**

**竹中委員**

①今年の予算にどのように反映されているのか。

②どのようなものか。

**坂本診療所事務長**

①昨年、老朽化により更新しているが、医療情報連携システム保守業務委託の中に保守等費用が入っている。

②診療報酬請求用を使用する。

**診療報酬収入と医業費支出**

**但野委員**

診療報酬収入が28年度と比較し約1000万円増えているのに医業費支出は昨年と同様となっている。収入が増えれば支出も伴うので医業費も増額となるはずだが。

**坂本診療所事務長**

28年度の医業費支出は病床休止に伴う経費について見込めなく大まかな予算だったが、29年度はある程度実績がつかめたため、医業

費は減額となっている部分がある。

**一般会計からの繰入金(歳入)**

**但野委員**

昨年より2000万円減額となっているが、この推移でいくのか。

**坂本診療所事務長**

28年度は医療連携情報システムを国保会計の特別調整交付金を見込み導入しているが、まだ決定していないので、その分、一般会計繰入金が多い。交付決定を受けた場合、繰入金を減額するが、その際は専決処分により予算調整したい。

**討論**

**反対**

**武藤委員**

入院病床の休止に伴う新ひだか町への医療連携負担金が含まれているが、医療機関は患者が増えることで診療報酬も増となることから、この負担金が含まれている予算に反対する。

**賛成**

**竹中委員**

医療連携は町民の入院環境を今後も安定的に継続していくため、ぜひとも必要なことであり賛成する。

**採決**

国保診療所会計は、賛成少数により否決しました。